

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	垣内博久
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田	

文化財名	笛吹神社古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1998年(平成10)3月20日				
所在地	葛城市笛吹448				
所有者 管理者	葛木坐火雷(かつらきにいますほのいかづち)神社＝笛吹神社				
員数	一基				
時代区分	6世紀				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	良好				
公開	非公開(山全体が神域)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	古墳内部奥は崩れが起きているとの事。古墳までの登坂路も若干崩れかけている。定期的に清掃や樹木の剪定は実施しているが、基本的には自然のままにしてあり(イチイガシ林も同様)、古墳上に竹が繁茂してきている。				
今後の課題	古墳内部の崩れを止めることが必要か。登坂路は古墳とは本来別であるが整備しても良いか。				
その他 (由緒など)	神山(コヤマ)と呼ばれるコの字型の丘陵に築かれた総数約80基からなる笛吹古墳群の東端に築かれた円墳。東西約25m、南北約20m、高さ約4m。埋葬施設は南に開口する横穴式石室であり、玄室の中央に凝灰岩製の刳抜式家形石棺が一基ある。笛吹の連の祖先建多折命(タケタオリノミコト)の墓という伝承。後に築かれた神殿が古墳下を避けた東側の下にあることから、神山が信仰の対象だったことがわかる。				
コメント	持田照久宮司にイチイガシ林と合わせて説明を受けた。ちなみに持田家は天香山命の子孫。現在は施錠してあり古墳には入れないが、以前は自由に入出入りできた。保存は手を加えるより、神域でもあることから現在のような隔離が良いと思われる。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	8月	22日	記入者	垣内博久	
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田		

文化財名	笛吹神社古墳
------	--------

<p style="text-align: center;">説明板</p>	<p style="text-align: center;">古墳入口</p>
--	---

<p style="text-align: center;">登り口</p>	<p style="text-align: center;">古墳上の竹林</p>
--	---

<p style="text-align: center;">祭神の表示板</p>	<p style="text-align: center;">コの字型の山</p>
---	---